

KIMOTO
REPORT

第59期 株主通信

2018年4月1日▶2019年3月31日

株式会社きもと

証券コード: 7908

株主の皆様へ



代表取締役社長 木本 和伸

株主の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

2019年3月期連結会計年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の決算をご報告いたします。

2019年3月期は、第四次中期経営計画“FPD to IoT”の3年目として、世界のIoT市場に向け、独自性のある高付加価値製品の開発・生産及びサービスの提供を推進いたしました。フィルム事業は、家電や自動車、産業機器など、インターネットを通して相互接続するIoT関連製品の事業拡大と、コンパクトグリーンコーターを活かした幅広い分野での開発品の先行生産体制を構築し、品質及び利益率向上に注力いたしました。データキッチン事業は、画像処理技術を活かした付加価値の高いデータ編集、点群データの処理・活用を強化し、海外現地法人及び国内外の協力会社と共に、グローバルにビジネスを展開いたしました。

売上は、北米及び欧州のIoT関連製品は堅調に推移しましたが、日本のIoT関連製品が低調に推移したことにより減収となりました。営業利益は、引き続き製品の利益率改善に取り組んでおりますが、日本のIoT関連製品の販売が減少したことにより減益となりました。なお、第1四半期に連結子会社の木本新技術(上海)有限公司(在中国)の清算が終了及び第4四半期に当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより特別利益を計上しております。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は13,568百万円(前連結会計年度比8.8%減)、営業利益は34百万円(同95.1%減)、経常利益は156百万円(同78.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は292百万円(同47.8%減)となりました。

KIMOTOに明日があるのか？

フィルム事業は、利益率の低い製品を高付加価値品にシフトする営業活動が遅れたことで、日本の生産高が前期より減少しました。引き続き、営業と開発が日々活動し努力しています。

アメリカのコンパクトコーターは、2017年10月の稼働以来、2年に満たない期間で稼働時間を増やし、受注も増えました。しかし、新規受注案件にて製造上の新たな課題が見つかり、歩留まりを大幅に下げました。現在、歩留まりの改善活動中ですが、商談中の案件も増加し今後が期待できます。

データキッチン事業は、売上予算を倍増(対前年比)して取り組みましたが、残念ながら予算未達成となりました。しかしながら、その要因となる改善点が見つかり、今期から技術と営業を一つにしたデジタルツイン事業部をスタートさせました。少し時間をいただきますが、どうぞご期待ください。

世界中の経済が不安定要素を抱える現状を勘案して、2020年3月期は前期同等の売上高で、増益を目指します。

新元号「令和」となり、節目を迎えた2019年は、KIMOTOグループにとっても意味のあることと考えます。

「楽しく・スマートに・勝つ」をモットーに、全社一同精進しております。何卒、ファンの皆様のご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

KIMOTO ダイジェスト

シンガポールで「きもとファーム 産新米・自然薯試食会」開催

2018年11月8～10日にシンガポールで「きもとファーム産 新米・自然薯試食会」を開催しました。3日間の試食会では、30名近くの方に炊きたての新米と自然薯を味わって頂き、「おいしい!」の声をたくさん頂きました。



東京中小企業投資育成様から 永年投資先企業として表彰頂きました



東京中小企業投資育成様のご支援、誠にありがとうございます。これからも世の中のお役に立てる企業を目指して励んでまいります。

※東京中小企業投資育成株式会社様(東京都渋谷区)は中小企業・中堅企業を資本面から支援することを目的として設立された政策実施機関です。

「LOPEC 2019」出展

ドイツのミュンヘンにて「LOPEC 2019 (オーガニック&プリント・エレクトロニクス産業国際見本市)」が2019年3月20～21日に開催され、KIMOTO AG (スイス) が出展しました。N. Jappar氏の発表や、出展した各種フィルムはとも好評で、様々な業界のお客様と情報交換することができました。



2018年
11月

2019年
1月

2019年
2月

2019年
3月

2019年
4月

「Inprint Milano 2018」出展

産業用印刷技術の展示会「Inprint Milano 2018」が2018年11月20～22日にイタリアのミラノで開催され、KIMOTO AG (スイス) が出展しました。印刷可能な機能性フィルム等、ご紹介した各種フィルムはとも好評で、様々な業界のお客様がブースに足を運んでくださいました。



「第27回 3D & バーチャル リアリティ展」出展

2019年2月6～8日に東京ビッグサイトで開催された、「第27回 3D&バーチャルリアリティ展」に出展し、データキッチンビジネスとしてキャプチャリング(計測分野)～プロセッシング(データ加工分野)～ビジュアライジング(閲覧分野)をご紹介しました。



「第52回岩崎トータルソリューションフェア2019」出展

2019年4月11～12日に札幌コンベンションセンターで開催された「第52回岩崎トータルソリューションフェア2019」に出展しました。IoT時代に必要な膨大な情報や画像データを“意味のあるもの”に変え、お届けするコンテンツの一つとして、KIMOTO360(360°空間ソリューション)をご提案しました。

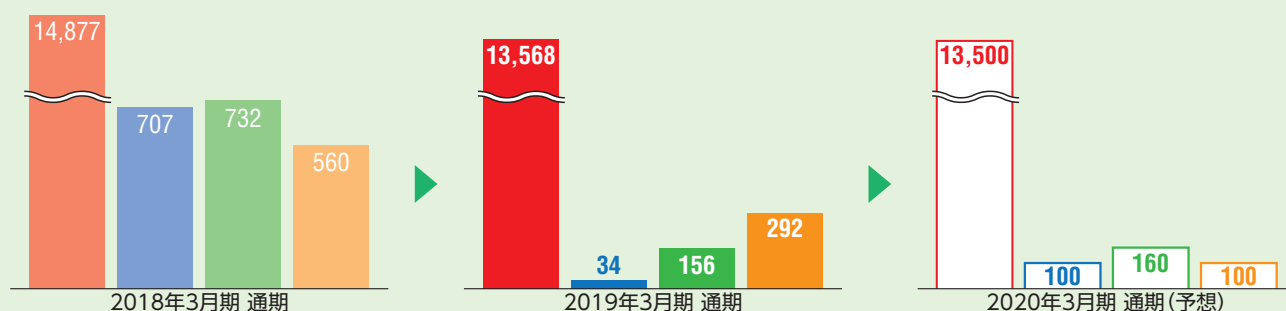


2019年3月期 通期業績

- 北米及び欧州のIoT関連製品は堅調に推移
- 日本のIoT関連製品は低調に推移したことにより減収、減益

連結業績 (単位: 百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



Topics

「デジタルツイン」の実現をめざして

ヒトを中心とした新しい社会に貢献すべく、Digital Twin事業部を新設しました。

「デジタルツイン」とは、現実の世界（フィジカル空間）の出来事を、そのまま仮想の世界（バーチャル空間）でリアルタイムに再現し、現実の世界と連動することです。情報の更新や変更、追加等2つの空間が常に繋がりに続けることによって、現実の世界に近いシミュレーションが可能になることから、次世代のものづくりや、私たちの暮らしを始め、様々な分野で活かされ始めています。

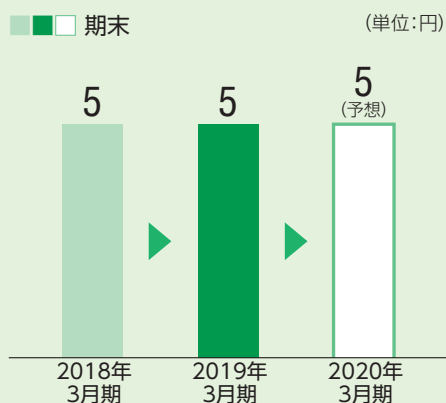
KIMOTOは、多種多様な分野で利用されるデジタルデータを提供するデータキッチン事業を推進してまいりましたが、データキッチン事業はデジタルツインという大きな枠組みの一部として捉え、2019年4月、Digital Twin事業部を新設させました。これまでのデータキッチン事業は、

技術と営業が別組織でしたが、コミュニケーションの質とスピードUP、そして品質向上を目指し、一つの事業部にまとめました。KIMOTOが長年にわたり培ってきた画像処理技術、データ加工技術を発展させるため、海外現地法人（瀋陽木本実業有限公司／中国遼寧省瀋陽市）及び国内外の協力会社（Taylors社／オーストラリア連邦ビクトリア州、北海道地図株式会社／北海道旭川市）と連携し、デジタルツインを実現する、あらゆるデータの取得・加工サービスを高品質で提供し、その活用法を提案します。

KIMOTOは100年輝き続ける企業をめざし、モノからコト、そしてココロを伝え、人と共に成長するIoT関連企業として、これからも歩んでまいります。



1株当たり配当



決算ハイライト

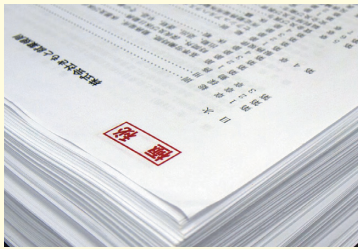
（単位：百万円）

	2015年3月期 第55期	2016年3月期 第56期	2017年3月期 第57期	2018年3月期 第58期	2019年3月期 第59期
売上高	17,391	15,597	15,606	14,877	13,568
営業利益	△150	△508	211	707	34
経常利益	228	△522	292	732	156
親会社株主に帰属 する当期純利益	50	△1,640	409	560	292
総資産	27,732	25,345	25,366	25,561	24,772
純資産	21,824	19,240	19,229	19,646	19,021

KIMOTOの あれこれ



新しい 規程 KIMOTO LINE スタート



KIMOTOでは2009年から行なっているワークフロー改革により、私たちの働き方は大きく変化し、これまでの規程では働き方と合わなくなってきました。プロジェクトを発足し、従業員が規程にとらわれず、新しい発想で働くことができるように、これまでの規程をゼロにすることを目指しました。

コンセプトは、「会社は大人を大人として扱い、従業員は自ら考え、行動する」です。

プロジェクトは、500枚以上あった規程を改定するのではなく、ゼロからシンプルに考え、本当に必要なことだけをまとめることにしました。

文章だけで表現することを極力抑え、知りたい情報を一覧にして、従業員にわかりやすいように構成しました。

そして、4年という歳月を経て、わずか5ページにまとめられた「KIMOTO LINE」と「17のガイドライン」が誕生しました。

「KIMOTO LINE」という名前には、会社と個人、2本のレールが同じ目的に向かい、お互いのバランスを取りながら未来へ進めるようにという思いが込められています。

私たちの働き方と共に「KIMOTO LINE」は柔軟に変化し続けていきます。

コーポレートサイトのご案内

<https://www.kimoto.co.jp/>



公式Facebook



公式Instagram



公式YouTube



会社概要

2019年3月31日現在

名称	株式会社 きもと
設立	1961年2月9日
従業員	629名(連結) / 502名(単体)

株式の状況

2019年3月31日現在

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	54,772,564株
株主総数	8,033名

株主メモ

- 事業年度
毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会
毎年6月末日まで
- 基準日
定時株主総会 3月31日
- 剰余金の配当の基準日
毎年3月31日及び9月30日
- 単元株式数
100株
- 株主名簿管理人
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 特別口座の場合
郵便物送付先 / 電話お問合せ先
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店 みずほ信託銀行株式会社
本店及び全国各支店
みずほ証券株式会社
本店及び全国各支店
公告掲載新聞 日本経済新聞

役員一覧

2019年6月18日現在

代表取締役社長	木本 和伸
常務取締役	笹岡 芳典
常務取締役	下里 桂司
取締役	Miguel Noe Leal
取締役	岡本 孝志
取締役	丸山 光則
取締役	郡司 果林
常勤監査役	鈴木 亮介
監査役	原口 純一郎
監査役	板東 恵美

自己名義株式 10.26% | 個人・その他 49.79% | 金融機関 13.77%



証券会社 1.53% | 外国人法人等 5.81% | その他国内法人 18.83%



〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷四丁目6番35号
TEL:048-853-3381 FAX:048-853-9041

